

収集運搬を起点としたサーキュラーエコノミーへの挑戦

2026 /2/24

小田急電鉄株式会社



小田急電鉄のご紹介

社名	小田急電鉄株式会社
設立	1948年6月1日（前身の小田原急行鉄道は、1923年5月1日設立）
資本金	603億5千9百万円
事業内容	鉄道事業 不動産業 その他事業
従業員数	3,758名（2023年4月1日現在）
年間収益	3,951億59百万円（2022年度連結営業収益）
グループ会社	84社（運輸業29社・流通業10社・不動産業8社・その他37社、2023年4月1日現在）



運輸業



流通業



不動産業

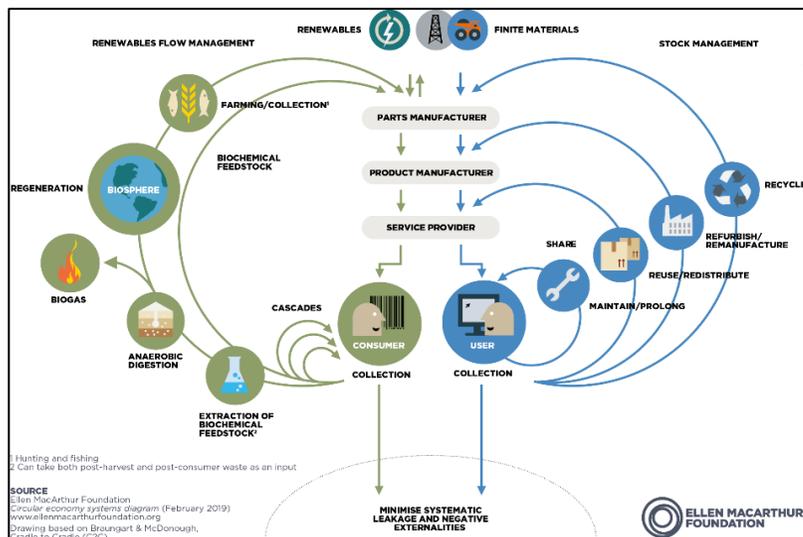


その他



サーキュラーエコノミー実現に向けた収集運搬分野の課題

- 資源循環を拡充するには、街中の住宅や店舗等が排出する多品目の資源を品目別に回収、各品目を各処理施設に運搬する必要があり、**収集運搬は、効率性が低下し複雑化するため、人手・車両を拡充する必要がある。**
- 一方、この分野では**人手不足が既に顕在化、現状の廃棄物収集の持続性さえも懸念される状況**



出展：エレンマッカーサー財団

バタフライダイアグラム



小規模の飲食店が並ぶ下北沢の様子



座間市の収集運搬の職員

ウェイストマネジメント事業 WOOMS

街のインフラとして重要な役割を担う資源・廃棄物の収集運搬に着目し、地域の発展、持続可能な地域社会に貢献することを目指し、2021年9月にサービスを開始しました。



第21-28号

2021年9月1日

**「“ごみ”のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンに！
9月1日 ウェイストマネジメント事業「WOOMS」を始動！
～資源・廃棄物の収集運搬のソリューションを通じて持続可能な地域社会に貢献します～**

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現に重要な役割を果たす資源・廃棄物の収集運搬を新たなインフラと定義し、その構築を目指し「“ごみ”のない世界へ。Beyond Waste」を事業ビジョンとするウェイストマネジメント事業「WOOMS」（ウームス）（以下、本事業）を2021年9月1日に始動します。これは、主に自治体や廃棄物排出・収集事業者を対象に廃棄物収集業務を効率化し、そこから生まれたリソースをごみの削減やリサイクルの拡充へと繋げる取り組みです。

本事業では、資源・廃棄物に関する自治体や事業者へ、テクノロジーを活用した収集から事務業務の効率化を支援する「収集・排出サポート」と、効率化による余力を活用し、資源循環を高める施策を提供する「資源循環サポート」で構成するソリューションを順次提供します。



小田急グループ各社で鉄道・まちづくり等のインフラ運営の経験を有するメンバーを中心に20名程度のメンバーでスタートしました。

WOOMSが提供するサービスの全体像



WOOMS ごみからはじめるサステナブルなまちづくり

Community コミュニティ

生活の変革: 毎日が変わる、つながり広がる。



- ・環境教育
- ・ワークショップ
- ・清掃活動 など



Technology テクノロジー

WOOMS App
WOOMS Portal DX

働き方の変革: ごみ収集から、資源収集へ。

収集運搬の最適化

資源循環の効率化

余力の創出

リサイクル率の向上

↓
CO2削減

役割の変革: まちの課題に合わせた新たな取り組み。

啓発活動

戸別収集

インフラチェック

防災・危機管理

コンポスト

アップサイクル

など

↓
担い手の確保/持続性の向上

ごみ収集は、まちを守り、生活を守る一員へ。

Activation
アクティベーション



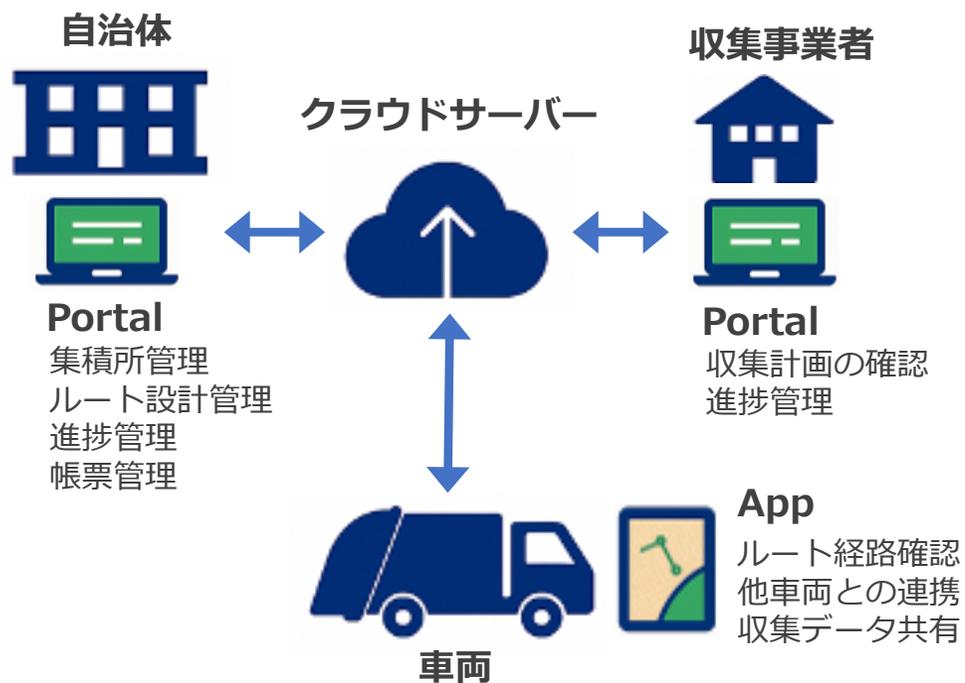
3つのサービスを活用し、課題解決・目標達成に、最適な共創プログラム・プロジェクトをご提案します。

テクノロジー システム概要

当社が提供する「WOOMS App & Portal（ウームス アップ アンド ポータル）」は、パソコンのWEBブラウザで使用する管理機器「WOOMS Portal」と、作業者が車両に搭載した「WOOMS App」とで構成し、集積所、収集ルート等の業務計画の作成・管理と収集に関する各種データを作業員、管理者がリアルタイムに連携・分析することが可能なクラウド型プラットフォームです。

【システム構成図】

収集に関するデータは、クラウド上で常時同期され、情報を一元管理できる仕組みです。



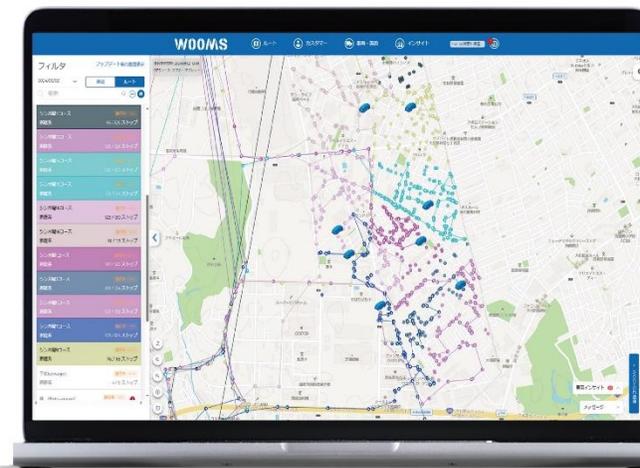
【システムの特徴】

変化を前提とした設計

正確・簡単なデータ取得と
多様なデータ活用機能

使いやすさと 伴走支援

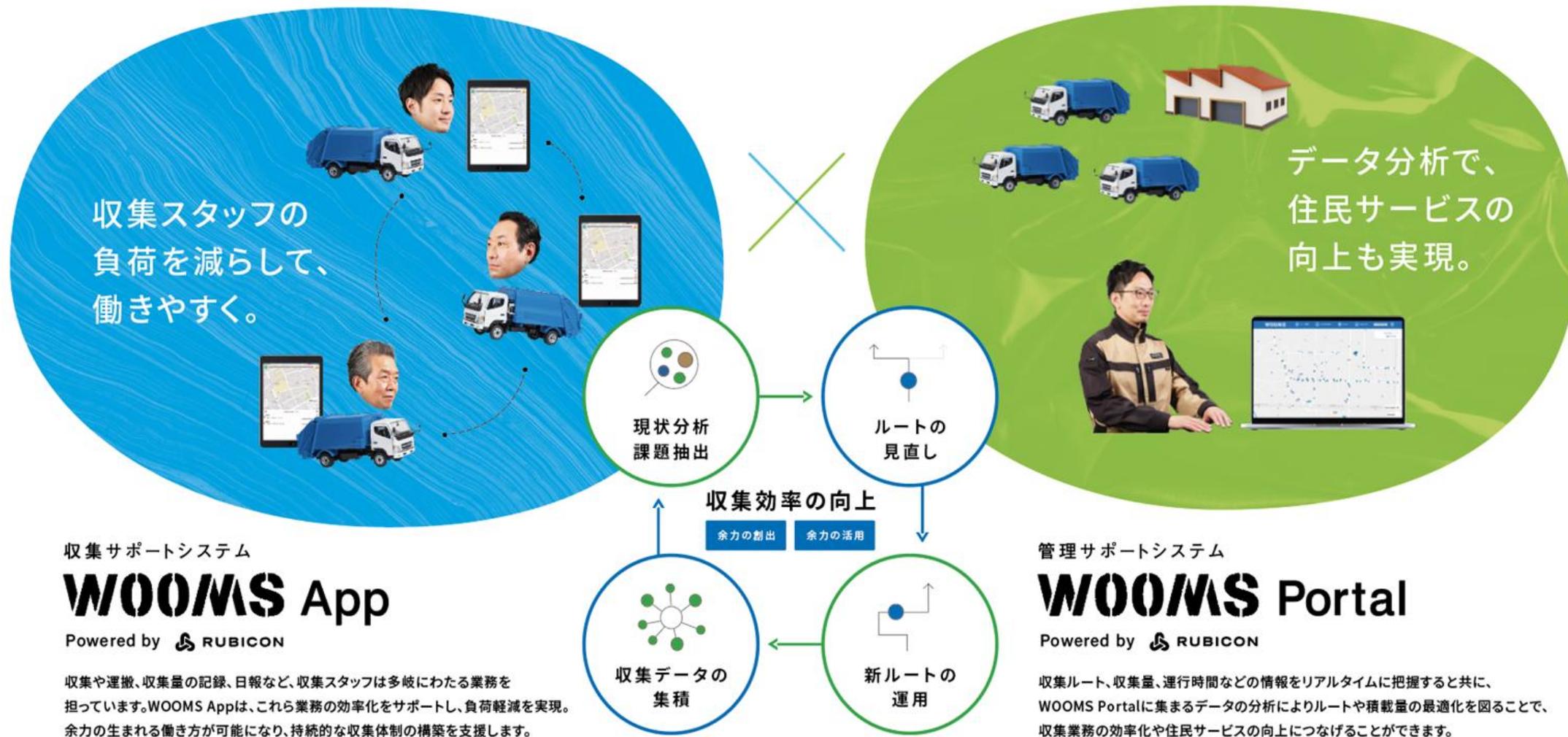
WOOMS Portal



WOOMS App

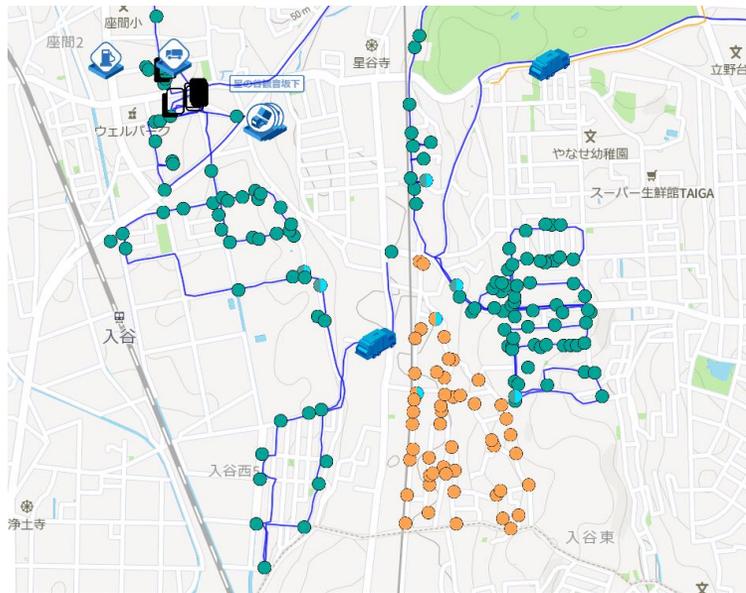


テクノロジー WOOMS App&Portal

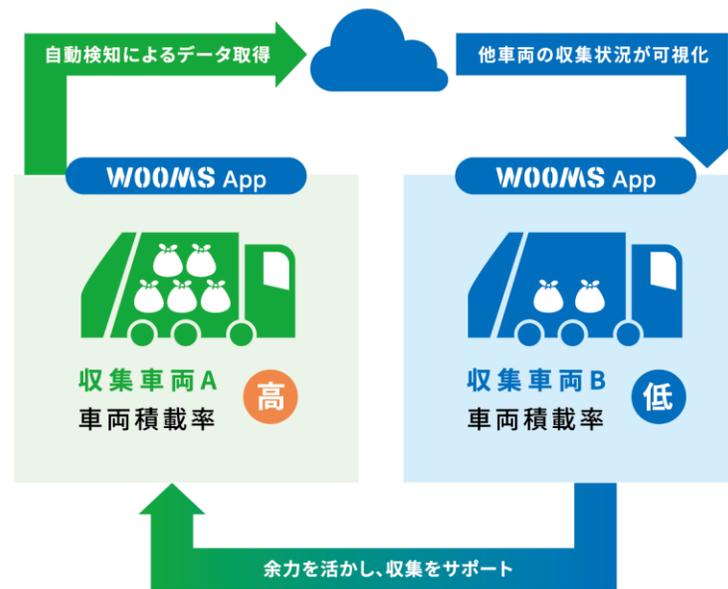


- ・ 収集状況の可視化により、固定化したルートを一時的に「**継続的に分析、ルート最適化を実現できる体制**」に移行
- ・ データを車両同士で共有することで、「計画を単独で実行する業務」から「**各車両が自律的に柔軟に対応し、チームで遂行する業務**」に移行

収集状況の可視化



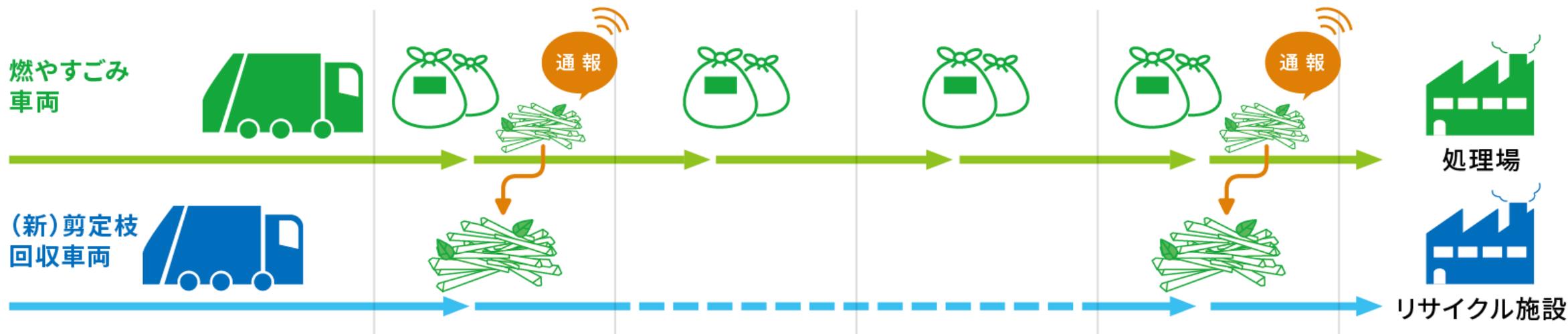
データを車両同士で共有



生産性向上を実現

座間市 2021年度 実績	
積載率	↑ 11.6% 1,834kg→2,047kg (+213kg)
運搬回数	↓ 16.3% 11,266回→9,427回 (-1,839回) ※1回あたりの往復距離20km程度

座間市では、創出された余力の一部を、収集職員が主導し、WOOMSを活用した新たな剪定枝の効率的な回収方法の考案により、リサイクルを実現。



2021年度実績 2019年度比	
剪定枝リサイクル量	焼却処理量
<p>↑ 481%</p> <p>166t→966t (+800t)</p>	<p>↓ 6.7%</p> <p>20,788t→19,378t (-1,410t)</p>

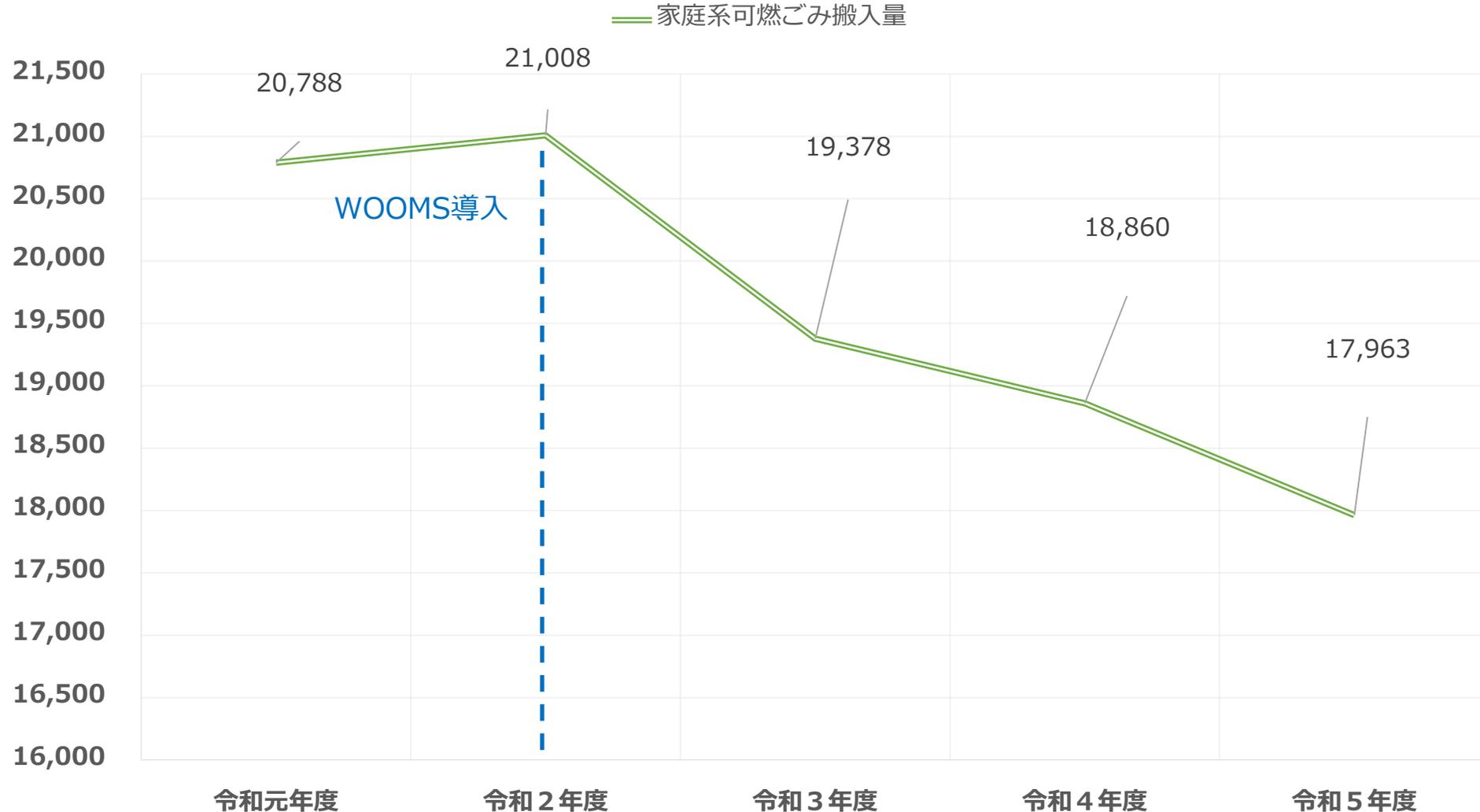
フードサイクルプロジェクト



バッグ型コンポスト
ローカルフードサイクリング（LFC）

	2022年度	2023年度
参加世帯数	281世帯	261世帯
生ごみ投入量	3.9トン	4.0トン
回収時の堆肥量	1.2トン	1.3トン

家庭系可燃ごみ搬入量



Odakyu Waste Management Business

WOOMS

小田急電鉄株式会社
デジタル事業創造部 課長
ウェイストマネジメント事業統括リーダー
正木 弾

dan.masaki@odakyu-dentetsu.co.jp
<https://www.wooms.jp/>

